

企業紹介

“確かな技術”で世界をリード



代表取締役社長 齋藤 朋之
〒945-1352 柏崎市大字安田7587番地1
TEL 0257-23-3055 FAX 0257-23-3060

業 種：製造業
資 本 金：7億5,100万円
事業内容：HUD用部品（凹面鏡、コリメートレンズ平面鏡他）、その他薄板製品 等

情報を自動車のフロントガラスに表示する新しい運転支援システムであるHUD（ヘッドアップディスプレイ）。そのHUD関連の部品を製造するのがJAPAN 3D DEVICES株式会社である。近未来的技術の普及に向け、同社の挑戦は始まったばかりだ。

未来の技術HUD

自動車用HUD(ヘッドアップディスプレイ)関連の開発・製造を行っているJAPAN 3D DEVICES株式会社は平成26年に柏崎市で創業した。

自動車用HUDとは、自動車の速度やルート情報をフロントガラスに表示させることでドライバーの視線を大きく動かすことなく、情報を読み取ることが出来る運転支援システムのこと。

同社ではHUDを構成する部品のうち、基幹部品である凹面鏡に加え光学系機器などの部品も製造する。欧州を中心に導入が進むHUD市場に早期参入し、世界を見据えて事業の拡大を狙う。

急成長する市場

同社の強みは、ミクロンオーダーと呼ばれる高度なガラスの曲面加工技術。この技術によって、世界初の高精度な薄板3D形状ガラス製品が誕生する。

これまで、HUD用凹面鏡は、主にプラスチックが用いられていたが、耐熱性やコスト面に課題があり、薄板で3D形状のガラス製品へ要望が高まっていた。同社は、ガラス製HUD用凹面鏡を武器として、新たなニーズに応える。

自動車用HUDは、2020年には1,000万台を超えて搭載率が10%に近づくと予想されている急成長市場。（現在はごく一部の車種・グレードにのみ搭載）同社は、量産体制を早急に確立し、拡大する市場と共に飛躍的な成長を目指している。

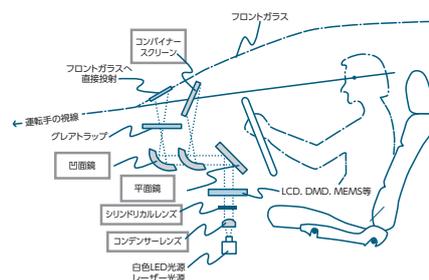
柏崎から世界へ向けて発信

サインデザイン最優秀賞を受賞したデザイン性の高い本社社屋と、5S（整理・整頓・清潔・しつけ・掃除）が徹底された最新設備の工場。さらに、ワイガヤ活動（年齢・役職が平等に意見を交わす場）を通した風通しの良い社内体制づくりなど、同社は働きやすい職場環境が整っている。

従業員は、ほとんどが地元である新潟県の出身者。万全の環境と最新の技術で、柏崎から世界へ向けて発信できるよう、今後も全社一丸となって邁進していく。



▲ヘッドアップディスプレイのイメージ



▲ヘッドアップディスプレイの構造



▲本社外観



▲ワイガヤ活動の様子